IZUMI SERIES7

充電式ケーブルカッタ

S7-K50M/S7-K50YM

取扱説明書

[S7-K50M]　[S7-K50YM]

ご使用の前に、「安全上のご注意」(3ページ～7ページ)、「充電式ケーブルカッタ使用上のご注意」(8ページ～9ページ) を必ずお読みください。

保　管　用

保証書添付

マクセルイズミ株式会社

■このたびは充電式ケーブルカッタをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■本機を安全に正しくお使いいただくため、はじめにこの取扱説明書を最後までよくお読みください。お読みいただいた後は、いつでも取りだせる場所に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 3

充電式ケーブルカッタ使用上のご注意 8

工具使用上のご注意 8
バッテリパック使用上のご注意 9
専用充電器使用上のご注意 9

各部の名称および標準付属品 (S7-K50M) 10

各部の名称および標準付属品 (S7-K50YM) 11

切断回数 12

バッテリパックの充電方法 13

充電時間 13
充電完了メロディーの切り替え方法 13
充電表示ライトについて 14
バッテリ残量表示ランプ 14

工具の使いかた 15

バッテリパックの着脱方法 15
スイッチ操作方法 15
切断作業 16

消耗部品の交換方法 (S7-K50M) 19

スプリングギヤ交換方法 19

消耗部品の交換方法 (S7-K50YM) 20

ウレタンゴム交換方法 20

別売品のご案内 21

保守・点検 22

修理のときは 22

仕様 23

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● **誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**
⚠ **注意**	**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお「⚠**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

● **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

❗ **専用の充電器とバッテリパックを使用してください。**

●工具は専用のバッテリパックを使用してください。
●他の充電器で本製品のバッテリパックを充電しないでください。
破裂して事故やけがの原因になります。

❗ **正しく充電してください。**

●本製品に付属する充電器は定格表示のある電源で使用してください。
●直流電源やエンジンの発電機では使用しないでください。
異常に発熱し火災の原因になります。
●周囲の環境、バッテリパック、充電器の温度が 10℃未満あるいは 40℃以上のときはバッテリパックを充電しないでください。
破裂や火災の原因になります。
●バッテリパックは風通しのよい場所で充電してください。
●充電中はバッテリパックや充電器を布などで覆わないでください。
破裂や火災の原因になります。
●充電後は必ず電源プラグを抜いてください。
感電や火災の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

カッタ部を人に向けるような使用はしないでください。
破損して飛散したとき、けがの原因になります。

バッテリパックの端子間を短絡（ショート）させないでください。
●バッテリパックを単品で保管する場合は、短絡を防ぐために、必ず付属のターミナルカバーを付けてください。
釘袋等に入れ、短絡すると発煙、発火、破裂の原因になります。

バッテリパックを火中に投入しないでください。
破裂したり有害物質が漏れ出す原因になります。

通電部には使用しないでください。
●工具は絶縁仕様ではありません。
通電箇所で使用すると感電の原因になります。
●ぬれた手で電源プラグ、バッテリパックに触れないでください。
感電の原因になります。

次の場合は、バッテリパックを工具本体から抜いてください。
●使用しない、または修理する場合
●消耗部品を交換する場合
●その他危険が予想される場合
工具が作動してけがの原因になります。

不意な始動は避けてください。
●スイッチに指をかけて運ばないでください。
工具が作動してけがの原因になります。

指定の付属品を使用してください。
●本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品以外のものは使用しないでください。
事故やけがの原因になります。

防護めがねを使用してください。
●作業時は防護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防塵マスクも併用してください。
切断時に細かな被切断物等が飛散し、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業場所の周囲の状況も考慮してください。

●工具、充電器、バッテリパックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の原因になります。

●作業場所は十分に明るくしてください。
暗い場所で作業は事故の原因になります。

●可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の原因になります。

⚠ 注意

作業場所はいつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は事故のおそれがあります。

子供を近づけないでください。

●作業者以外、工具や充電器のコードに触れさせないでください。また作業場所に近づけないでください。
けがのおそれがあります。

使用しないときは、きちんと保管してください。

●湿度の少ない場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。
事故のおそれがあります。

●工具やバッテリパックを、温度が 40℃以上に上がる可能性のある場所（金属製の箱や夏期の車内など）に保管しないでください。
バッテリパック劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。

無理して使用しないでください。

●安全に効率よく作業するために、工具の能力に合った作業をしてください。
能力以上でのご使用は事故のおそれがあります。

●モーターがロックするような無理な使いかたはしないでください。
発煙、発火のおそれがあります。

作業に合った工具を使用してください。

●指定された用途以外に使用しないでください。
けがのおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

きちんとした服装で作業してください。

●だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。
作動部、回転部等に巻き込まれるおそれがあります。

●屋外作業の場合、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物はけがのおそれがあります。

●長い髪は帽子やヘアカバー等で覆ってください。
作動部、回転部等に巻き込まれるおそれがあります。

無理な姿勢で作業をしないでください。

●常に足下をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒してけがのおそれがあります。

油断しないで十分に注意して、作業を行ってください。

●工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況などに十分注意して、慎重に作業を行ってください。
軽率に作業をすると、事故やけがのおそれがあります。

●飲酒しての作業はおやめください
事故やけがのおそれがあります。

●疲れていたり体調の悪いときは使用しないでください。
事故やけがのおそれがあります。

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

●コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。

●コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

●コードを踏んだり、引っかけたりして無理な力が加わって損傷しないように、充電場所には注意してください。
感電やショートして発火するおそれがあります。

充電器の前面下部にある「冷却ファンの風穴」がゴミでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。

●冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となるおそれがあります。

屋外仕様に合った延長コードを使用してください。

●屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 注意

工具は注意深く手入れをしてください。

●消耗部品の交換は、、取扱説明書に従ってください。
けがのおそれがあります。

●充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理をご依頼ください。
感電や短絡 (ショート）して発火するおそれがあります。

●延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
感電や短絡 (ショート）して発火するおそれがあります。

●握り部は常に乾かして、きれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
けがのおそれがあります。

損傷した部品がないか点検してください。

●使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

●部品の破損、取付状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に、異常が無いか確認してください。

●電源プラグやコードが損傷した充電器、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電やショートして発火するおそれがあります。

●部品交換や修理は取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理をご依頼ください。

●スイッチで始動および停止操作のできない工具は使用しないでください。
異常動作してけがをするおそれがあります。

工具の修理はお買い求めの販売店、または弊社営業所にご依頼ください。

●本体、充電器、バッテリパックを分解したり、修理･改造を行わないでください。
発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。

●工具が熱くなったり、異常に気がついたときは点検修理に出してください。

●本製品は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。

●修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社営業所にご依頼ください。
修理の知識や技術のない方が修理なさいますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

充電式ケーブルカッタ使用上のご注意

■本工具を使用する際、次に記載する注意事項もお守りください。

工具使用上のご注意

- **最大切断能力以上の被切断物の切断は絶対にしないでください。**
  破損などの原因となりますので十分に注意してください。（12 ページ参照）
- **可動刃・固定刃の切刃部分には手を触れないようにしてください。**
  けがのおそれがあります。
- **活線（通電中の電線ケーブル）の切断は絶対に行わないでください。**
- **落下等の過度の衝撃を与えないでください。**
  小型軽量にするため、内部構造が精密に造られており衝撃により正常に作動しなくなることがあります。
- **雨中で使用しないください。**
  刃のサビによる切味の低下や故障につながります。
- **余長切断を 50mm 以下で行わないでください。**
  CCP ケーブル等の端末の余長切断を極端に短く行うと、ケーブル介在物等の噛み込みが生じる場合があります。
- **切断動力方向以外への無理な荷重をかけないでください。**
  切断は被切断物に対し垂直方向に行ってください。カッタ刃の破損の原因となります。
- **本体を確実に保持してください。**
  けがのおそれがあります。
- **高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。**
  材料や本体を落としたとき等、事故のおそれがあります。
- **異常がないことを確認してから使用してください。**
  カッタ部にひび、割れなどがありますと、カッタ部が破損し、けがのおそれがあります。
- **休ませながら使用してください。**
  休止無しの連続切断を行うと、モータ温度の上昇状態が続き、モータ・バッテリパックが加熱し、故障の原因となります。時々休ませながら使用してください。
- **周囲温度が低い（10℃以下）の場合、電線ケーブルの硬化により、切断能力内の電線ケーブルでも切断ができない場合があります。**
- **作業終了ごとに必ずエアー等で掃除してください。**
  本体の（可動刃駆動）開口部から内部に切クズ、ゴミ等が入らないように注意してください。
- **素線径 1mm 以下の電線ケーブルの切断を行わないでください。**
  電線ケーブルの噛み込みによりカッタ刃がロックする場合があります。

バッテリパック使用上のご注意

- 端子は絶対に短絡 (ショート）しないでください。
- 水や油、有機溶剤がかからないようにしてください。
- 分解や改造はしないでください。
- 廃棄する場合、火の中への投入や、一般ゴミとして廃棄しないでください。(弊社ではリサイクルを推進しています。（22 ページ参照））
- 投げたり、落としたりしないでください。
- 40℃以上の高温の場所に長時間放置しないでください。
- バッテリパックの金属端子部にゴミやホコリが付着していると、接触不良となり故障の原因になります。また金属端子部に腐食が発生した場合は使用しないでください。
- バッテリパックを購入後 3 カ月以上使用しない場合は、一度充電してから保管してください。その後は 6 カ月に 1 回の頻度で充電をおこなって保管してください。バッテリ残量が少ない状態での長期保管はバッテリパックに悪影響を与えるおそれがあります。

専用充電器使用上のご注意

- 本充電器は充電表示ライト (多色 LED）により充電状態を表示します。（14 ページ参照）
- 充電器の金属端子部にゴミやホコリが付着していると接触不良となり故障の原因になります。また金属端子部に腐食が発生した場合は使用しないでください。
- 充電器の USB 端子のご使用は保証対象外です。

各部の名称および標準付属品 (S7-K50M)

●充電式ケーブルカッタ

可動刃

固定刃

LED ライト

正転スイッチ

オフロックスイッチ

逆転スイッチ

ストラップ
リング

スプリングギヤ（B）

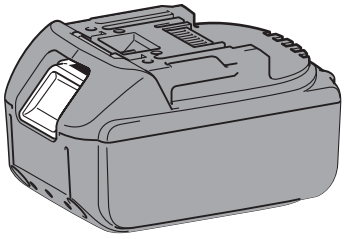
ブラシ（防塵用）

スプリング
ギヤ（A）

ストラップ
プレート

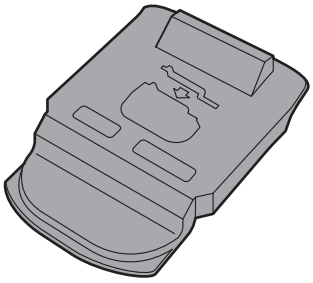
ダイヤルノブ

●バッテリパック
BL1830B



●充電器 DC18RF

●ターミナルカバー



●キャリングケース

各部の名称および標準付属品 (S7-K50YM)

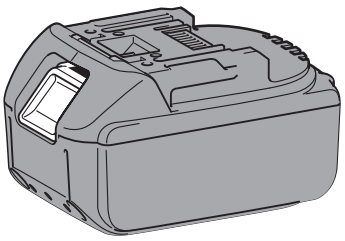
●充電式ケーブルカッタ

可動刃
固定刃
LED ライト
正転スイッチ
オフロック
スイッチ
逆転スイッチ
ストラップ
リング

ブラシ（防塵用）
可動刃プレート

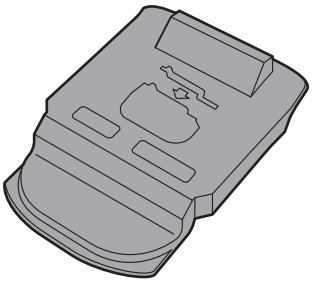
ストラップ
プレート
ダイヤルノブ

●バッテリパック BL1830B



●充電器 DC18RF

●ターミナルカバー



●キャリングケース

切断回数

（1 回の満充電で可能な切断回数の目安）

標準切断可能回数は、充電の条件、バッテリ性能の経時変化および刃の切味により変わることもありますので目安としてください。

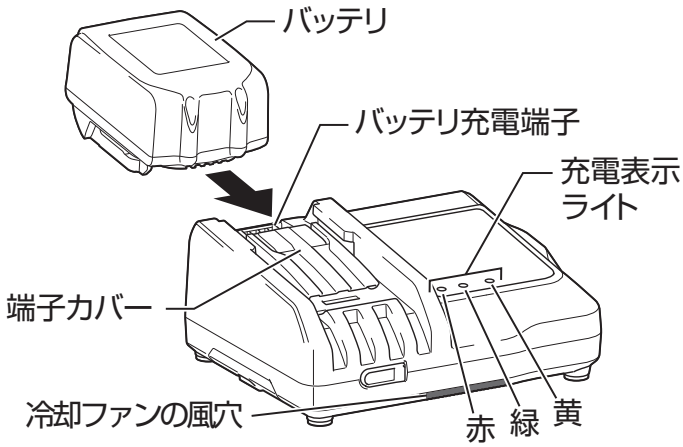
切断回数が初期の状態の半分程度となった場合は、電池の経済寿命ですから新しいバッテリパックをお買い求めください。

バッテリ性能の経時変化、電線の種類、周囲の温度により多少変動しますので、スペアバッテリのないときは早めに充電してください。（途中で止まっても新しいバッテリパックと交換すれば工具が作動します。）

最大切断能力（仕上り外径）【より合わせ外径 mm】			切断可能回数	
			S7-K50M	S7-K50YM
架橋ポリエチレン絶縁ビニルシース電力ケーブル	600V-CV	500 mm^2 単心（φ 38）	85 回	80 回
		150 mm^2 3 心（φ 46）	85 回	80 回
	6600V-CV (CVT)	500 mm^2 単心（φ 45）	90 回	85 回
単心より合わせ形架橋ポリエチレン絶縁ビニルシース電力ケーブル	600V-CVT	150 mm^2【φ 47】	60 回	55 回
ビニル絶縁電線	600V − IV	500 mm^2 単心（φ 35）	110 回	105 回
ビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形	600V-VVR	150 mm^2 3 心（φ 47）	65 回	60 回

⚠注意	オートリバースの有効 (戻り量)、無効により切断回数が変わる場合があります。

バッテリパックの充電方法



充電時間

BL1830B（標準バッテリ）	
充電容量 80%	充電容量 100%
17 分	22 分

1 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠注意	直流電源やエンジン発電機に接続しないでください。

2 バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。

●充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。

3 バッテリを挿入すると充電表示ライトの赤が点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。

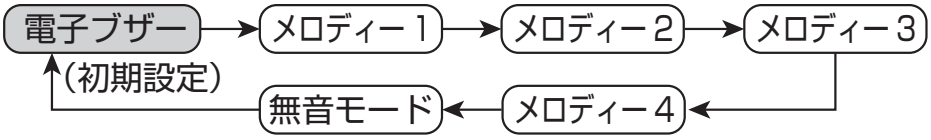
4 充電が完了すると充電表示ライトの緑が点灯し、充電完了メロディーまたは電子ブザーが鳴ります。

●充電完了後、すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。

5 バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電完了メロディーの切り替え方法

① バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。差し直すごとに以下の順番で確認音が替わります。



② 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴ったら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。

③ 充電が完了すると充電表示ライトの緑が点灯し、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーまたは電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には音は鳴りません。

※設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

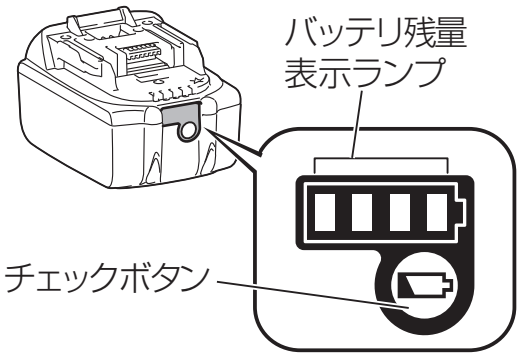
バッテリパックの充電方法（つづき）

充電表示ライトについて

ライトの状態	表示内容	ライトの状態	表示内容
（通常充電のとき）		（通常充電のとき）	
（赤）（緑）（黄）	**充電前** コンセントに電源プラグを差し込んだ状態です。	（赤）（緑）（黄）	**フル充電完了** 電子ブザーまたはメロディー音
（赤）（緑）（黄）	**冷却中** バッテリが高温です。充電器内蔵の冷却ファンによる冷却後、自動的に充電を開始します。	（オートメンテナンスのとき）	
		（赤）（緑）（黄）	**オートメンテナンス** バッテリ寿命低下防止のため最適な充電を行うので、充電時間が長くなります。
（赤）（緑）（黄）	**充電中** バッテリ容量約 0 ～ 80 % を示します。	（異常時）	
		（赤）（緑）（黄）	**充電不可** 「赤・緑 1 個」交互点滅、電子ブザー音 バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
（赤）（緑）（黄）	**実用充電完了** バッテリ容量約 80 ～ 100 % を示します。	（赤）（緑）（黄）	**冷却システム異常** 冷却ファンの故障または冷却不足です。

：充電表示ライトの点滅状態を表します。　○：充電表示ライトの消灯を表します。

バッテリ残量表示ランプ



チェックボタンを押すと、電池の残量を 4 段階で表示します。

最後の表示ランプが点滅すると、電池残量がわずかな状態ですので、早めに充電してください。

左右 2 個ずつ交互に点灯する場合はバッテリの異常ですので、新しいバッテリパックと交換してください。

⚠**注意**	**正しい充電をしても、バッテリパックの使用時間が著しく低下してきたときは、バッテリパックの経済寿命とお考えいただき、新しいバッテリパックと交換してください。**

工具の使いかた

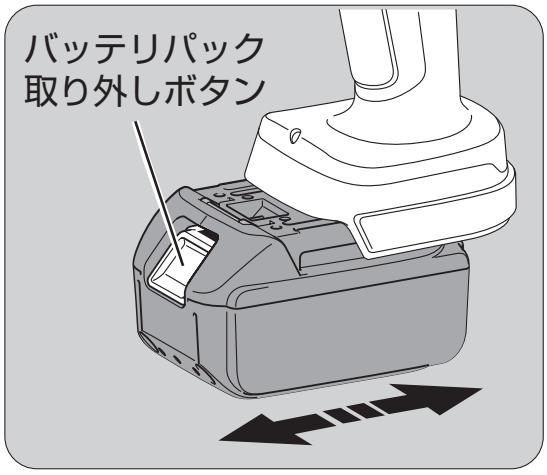
バッテリパックの着脱方法

1　バッテリパックを取り外す

バッテリパック取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。

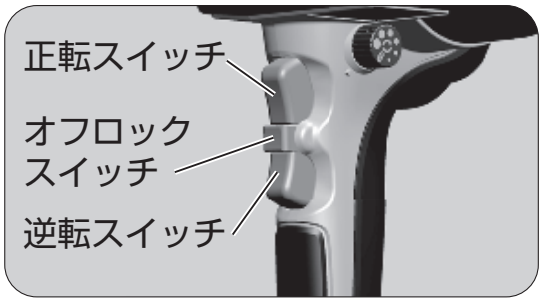
2　バッテリパックを装着する

装着は本機の溝に合わせながらスライドさせ「カチッ」と音がするまで挿入してください。



スイッチ操作方法

誤作動防止のため、ツーアクションスイッチとなっていますので、正転スイッチ(切断回転)も逆転スイッチ（戻し回転）も、まず中央のオフロックスイッチを完全に押して（その状態のまま)正･逆転スイッチを押してください。



作業補助灯 LED

本工具にはカッタ刃周辺を照らす LED ライトが付いています。正・逆転スイッチをオンにすると点灯し、スイッチをオフにして約 10 秒で消灯します。

⚠注意	LED ライトの光を直接のぞき込んだり目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目に当たると目を痛めるおそれがあります。

バッテリ容量低下アラーム

リチウムイオン電池の残存容量が少なくなると、正転スイッチ ON 時に LED ライトが 5 回点滅しアラーム表示します。充電またはスペアバッテリに交換してください。

切断作業

[S7-K50M]

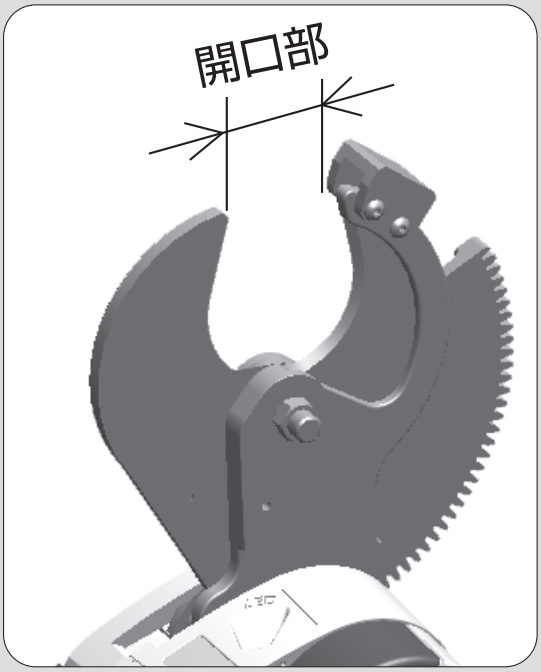
1 可動刃をニュートラル状態にする

正・逆転スイッチを操作し、可動刃をニュートラル状態にします。

[S7-K50YM]

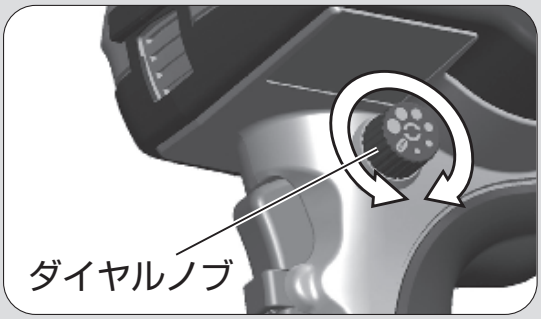
1 開口部が開いていることを確認する

電線ケーブルがセットできる開口量であるか確認し、狭い場合は逆転スイッチを押して開いてください。



2 ダイヤルノブでオートリバースの有効 / 無効を設定する

オートリバース有効時は任意の位置、無効時は OFF の位置にダイヤルノブを調整してください。



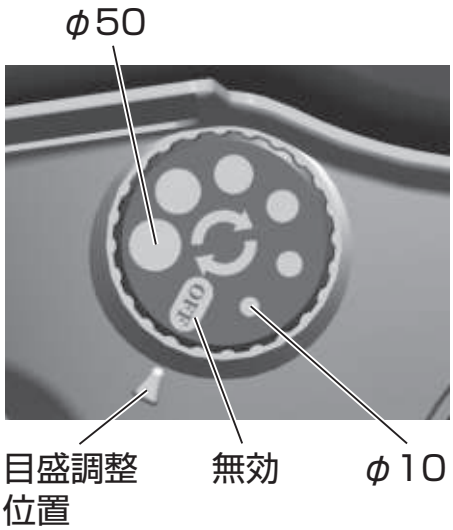
切断作業（つづき）

オートリバース機能について

オートリバース有効時はケーブル切断後モータがブレーキ停止し、正転スイッチを離すと、ダイヤルノブで設定した口開きまで自動反転します。

口開きは6段階（約φ 10 ～φ 50）で調整可能です。（口開き量は目安です。）

オートリバース作動中に正転スイッチを押すとオートリバースがキャンセルされます。
そのまま正転スイッチを押し続けても正転方向（切断回転）には作動しません。

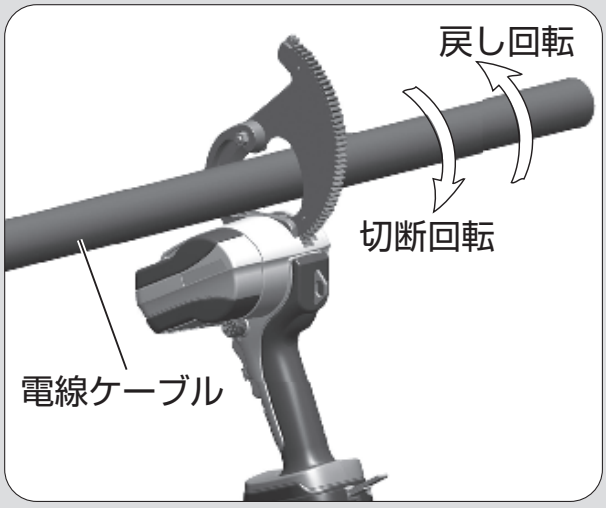


⚠注意	● 切断途中で正転スイッチを離すとオートリバースが作動しません。 ● 38mm^2 以下の細物電線ではオートリバースが作動しません。 ● バッテリの電池電圧状態により口開き径が若干変わります。

[S7-K50M]

3 可動刃開口部へ電線ケーブルを取り込む

固定刃側に切断する電線ケーブルを取り込みます。この際、可動刃を軽く押し込みますとスムーズに作動します。



[S7-K50YM]

3 可動刃開口部へ電線ケーブルを取り込む

固定刃側に切断する電線ケーブルを取り込みます。

4 正転スイッチを操作し電線ケーブルを切断する

切断終了まで正転スイッチは押し続けてください。

5 切断後ゴミを取り除く

切断後は、刃部に付着している切り屑やゴミをきれいに取り除いてください。

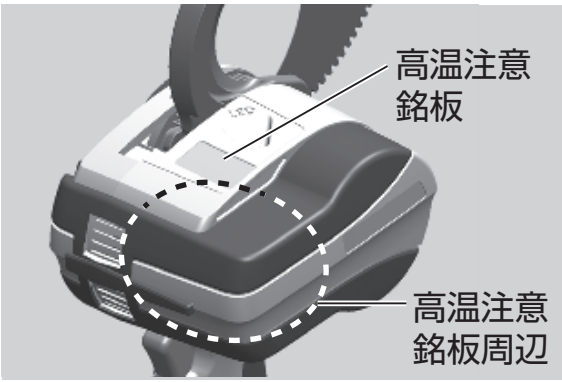
⚠注意

● 連続作業について

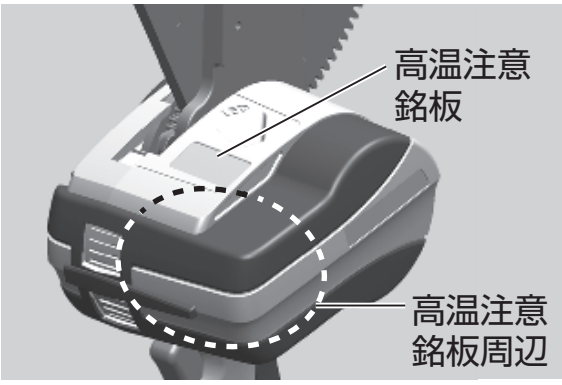
モータ保護のため、高温注意銘板周辺が熱くなったら作業を中断して工具本体を充分冷やしてからお使いください。連続切断する際は、スペアバッテリの交換時に工具本体を風通しの良い涼しい場所で 50 分以上休ませてからご使用ください。スペアバッテリの交換後すぐに作業を続けますとモータの温度が高くなりモータ焼損のおそれがあります。

- **切断能力内の電線ケーブルであっても周囲温度（低温時）や、電線の長さ・曲がり具合等の影響により過電流保護機能が作動する場合があります。**
- **LED ライトが 6 回以上点滅した場合は、回路基板の異常表示です。お買い上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。**

[S7-K50M]



[S7-K50YM]



過電流保護機能について

仕様外ケーブルの切断により必要以上の負荷電流が流れた場合、モータ保護のため過電流保護装置が働き、モータが停止します。停止状態からの復帰には、正転スイッチをオフすることにより再作動可能です。

消耗部品の交換方法 (S7-K50M)

刃部（可動刃・固定刃）、ブラシおよびスプリングギヤは消耗部品です。刃に割れ、カケが生じた場合は、新品と交換してください。刃部の交換につきましては販売代理店もしくは最寄りの弊社営業所へご依頼ください。スプリングギヤの交換をご自分でされる場合は、下記手順にて行ってください。

⚠注意	● ブラシ・スプリングギヤ交換時は必ず本体からバッテリパックを取りはずした状態で行ってください。 ● スプリングギヤが破損、また異音が発生した場合は、速やかに交換してください。破損したまま使用を続けますと、内部ギヤ破損の原因となります。

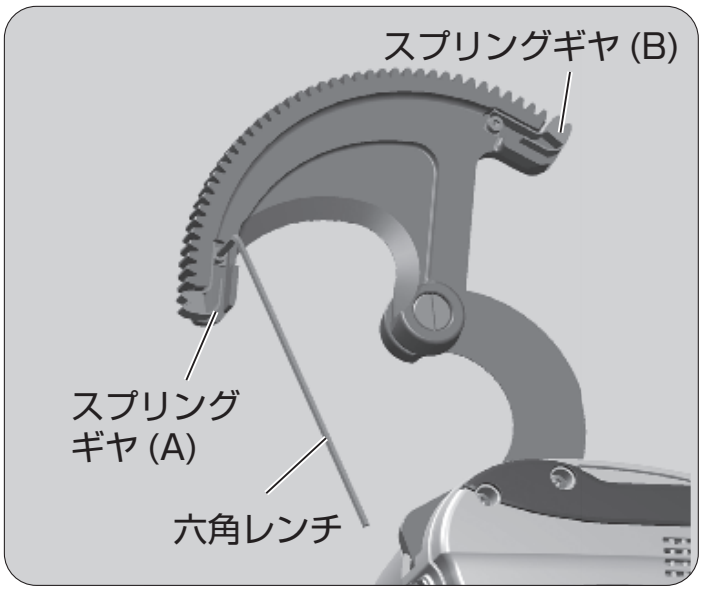
スプリングギヤ交換方法

1 スプリングギヤを取り外す

六角レンチにて六角穴付ボルトM3 × 3 を外し、スプリングギヤを取り外します。

2 スプリングギヤを取り付ける

新品のスプリングギヤを取り付け、ボルトを確実に締めつけます。



消耗部品の交換方法 (S7-K50YM)

刃部（可動刃・固定刃）、ブラシおよびウレタンゴムは消耗部品です。刃に割れ、カケが生じた場合は、新品と交換してください。刃部の交換につきましては販売代理店もしくは最寄りの弊社営業所へご依頼ください。ウレタンゴムの交換をご自分でされる場合は、下記手順にて行ってください。

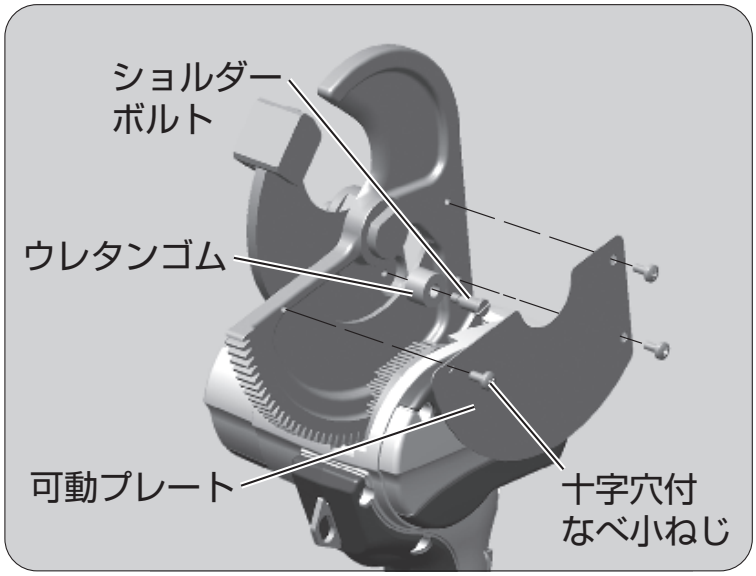
⚠注意	● ブラシ・ウレタンゴム交換時は必ず本体からバッテリパックを取りはずした状態で行ってください。

ウレタンゴム交換方法

1 十字穴付なべ小ねじ、可動プレート、ショルダーボルトを取り外し、ウレタンゴムを抜き取ります。

2 新品ウレタンゴムをショルダーボルトに取り付け、ねじ部にゆるみ止めを塗布し、確実に締め付けます。

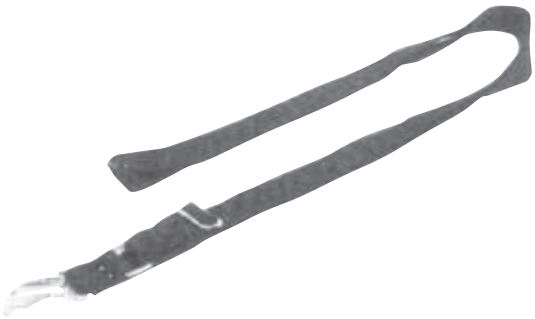
3 可動プレート、十字穴付なべ小ねじを取り付けます。



別売品のご案内

●肩かけベルト (SPD1)

本工具のストラップリングに取り付けて使用します。



保守・点検

■ 日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障原因になりますので注意してください。
■ 工具の円滑な作動およびさびの発生を防ぐため、湿気を避けて保管し、摺動する部分にはときどき機械油を注油してください。
■ 工具が通常使用（作動 10,000 回以上・カッタ部は 1,000 回以上）で破損した場合は、耐久限度ですので破損部品のみを交換しての再使用はおやめください。
■ 樹脂部分が汚れた場合は、せっけん水を柔らかい布につけて拭き取ってください。
■ バッテリパックを単品で保管する場合は、短絡を防ぐために、必ず付属のターミナルカバーを付けてください。
■ 安全点検のため、2 年に 1 回の目安でメーカーメンテナンスにお出しいただくことをおすすめします（有償）。詳しくは、お買上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

修理のときは

工具本体は厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店または弊社営業所にご依頼ください。

工具本体には分解の形跡を判別するための保証シールが貼り付けてあります。このシールをはがすと、保証期間中であっても有償修理となりますのでご注意ください。

またバッテリパックが使用不能状態になり、廃棄処分する場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所にご持参いただくかお問い合わせください。

その他、別売品のご購入やカタログの請求、取扱い上でお困りの点などがございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

バッテリパックはリサイクルへ

弊社はバッテリパックのリサイクルを推進しています。

ご使用済みのバッテリパックを工具本体から取りはずし、短絡（ショート）防止のため端子部に絶縁テープを貼って、お買い求めの販売店、または弊社営業所へお出しください。

Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

仕様

充電式ケーブルカッタ	S7-K50M	S7-K50YM
切断可能最大径	φ 50 mm	
電動機	DC モータ	
外形寸法	116（長さ）× 396（高さ）× 197（幅）（mm）	116（長さ）× 385（高さ）× 189（幅）（mm）
質量	2.2 kg	2.9 kg

バッテリパック	BL1830B（標準）
電池名称	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 18 V
定格容量	3.0 Ah
充電時間	80% 充電完了 :17 分 100% 充電完了 :22 分
質量	0.65 kg

充電器		DC18RF
入力電圧		AC100 V 50/60 Hz
入力容量		330 W
バッテリ充電端子	出力電圧	DC 18 V
	出力電流	直流 12 A
USB電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.1 A
	端子形状	USB A 型
外形寸法		156（長さ）× 84（高さ）× 190（幅）（mm）
質量		0.98 kg

メモ

マクセルイズミ株式会社

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無料で修理をさせていただきます。

①無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げ販売店に商品とIZUMI保証書をご持参いただきお申しつけください。

②お買い上げ販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの弊社営業所にご連絡ください。

2．保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。

①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

②お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷。

③火災、地震、水害、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。

④過負荷及び誤圧による故障または損傷。

⑤工場でのライン作業等の連続長時間使用による故障及び損傷。

⑥本保証書のご提示がない場合。

⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3．本保証書は、日本国内において有効です。

4．本保証書は再発行しません。

保　証　書

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は、裏面をご参照ください。

型式（商品名）	S7-K50M/S7-K50YM
お客様	お名前　　様
	ご住所　〒
	☎（　　）　－

参照用

お買い上げ日	保　証　期　間
年　　月　　日	お買い上げ日より 6ヶ月間

取扱販売店名、住所、電話番号

サービス履歴	年 月 日	サービス内容	担当者
	年　月　日		
	年　月　日		

マクセルイズミ株式会社

本　社
〒３９９－８７２１
長野県松本市大字笹賀３０３９番地
TEL　０２６３-５８-５７５７㈹
FAX　０２６３-８６-１００２

東京
〒１５１－８５２７
東京都渋谷区元代々木町３０－１３
TEL　０３-６８９１-２１１１㈹
FAX　０３-６８９１-１７００

大阪
〒５４２－００８１
大阪府大阪市中央区南船場２－１－１０
（ＣＡＲＰ南船場第１ビル　９階）
TEL　０６-７６６３-０６６７㈹
FAX　０６-７６６３-０６６８

福岡
〒８１２－０００８
福岡県福岡市博多区東光２丁目２２－３０
TEL　０９２-４８３-５７００㈹
FAX　０９２-４８３-５７０４

名古屋
〒４６５－００３４
名古屋市名東区高柳町２０７番地
TEL　０５２-７７５-５３８８㈹
FAX　０５２-７７６-２１６３

仙台
〒９８４－００３２
宮城県仙台市若林区荒井一丁目２１番地の８
TEL　０２２-２８７-１７６１㈹
FAX　０２２-２８７-１７６８

キリトリ線

IZUMI

マクセルイズミ株式会社

本　　社
〒３９９－８７２１
長野県松本市大字笹賀３０３９番地
TEL　0263-58-5757㈹
FAX　0263-86-1002

福岡
〒８１２－０００８
福岡県福岡市博多区東光２丁目
２２－３０
TEL　092-483-5700㈹
FAX　092-483-5704

東京
〒１５１－８５２７
東京都渋谷区元代々木町３０－１３
TEL　03-6891-2111㈹
FAX　03-6891-1700

名古屋
〒４６５－００３４
名古屋市名東区高柳町２０７番地
TEL　052-775-5388㈹
FAX　052-776-2163

大阪
〒５４２－００８１
大阪府大阪市中央区南船場２－１－１０
（CARP 南船場第１ビル９階）
TEL　06-7663-0667㈹
FAX　06-7663-0668

仙台
〒９８４－００３２
宮城県仙台市若林区荒井一丁目
２１番地の８
TEL　022-287-1761㈹
FAX　022-287-1768

219175080-04